



川桁体育館でトレーニングを行うガーナの選手

パラリンピック選手団が来町

パラリンピックガーナ選手団事前合宿

東京パラリンピックのガーナ選手団は8月16日から22日まで、町内で事前合宿を行いました。来町した選手団はパワーリフティング選手2人、陸上選手1人、スタッフ7人の計10人。8日に来日しましたが、スタッフの1人が空港検疫で新型コロナウイルスの陽性が判明したため、このスタッフは一時隔離されました。ほかの選手らは陰性が確認された16日から川桁体育館などでトレーニングを行い、22日に東京都内の選手村に向かいました。

世界の恒久平和を願う

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は8月5日、学びいなで開かれました。町遺族会の会員ら約20人が参列し、過去の戦争で犠牲になった戦没者800余柱の冥福を祈りました。式では、全員で黙とうをささげた後、前後公町長が「戦争の恐ろしさやむなしさ、非情さを後世に伝え、安心して暮らせるまちづくりに取り組むことを誓います」と式辞。渡辺真一郎町議会議長が追悼の辞を述べた後、参列者が英霊の冥福を祈って献花しました。



犠牲者の冥福を祈り献花する前後町長



千里小学校体育館の引き戸を調整する会員

子どもたちにより良い環境を

猪苗代ビルドの会ボランティア活動

町内の建設業者などで作る猪苗代ビルドの会は8月23日、町内のこども園や小中学校などの教育施設の修繕ボランティア活動を行いました。出発式は同日、町役場で行われ、大川原世資廣会長が「けがに気を付けて作業してください」とあいさつ。前後公町長と宇南山忠明教育長がお礼の言葉を述べました。

ボランティア活動には会員16人が参加。参加者は3班に分かれて小中学校などの修繕作業を行いました。

救世観音祭礼で御詠歌

野口英世記念館・救世観音祭礼

野口英世記念館の野口博士生家前にある観音堂の救世観音祭礼は8月9日、同館で行われました。野口家の菩提寺である長照寺の楠恭信副住職が読経し、三城瀉御詠歌護持親睦会の会員10人が御詠歌を歌い上げました。

観音堂は、野口博士の母シカが中田観音を信仰していたことにちなんで同館内にまつられ、台座には中田観音の分霊が納められています。



祭礼に参列する三城瀉御詠歌護持親睦会の会員ら



感謝状贈呈式に出席したタオ・パさん
(前列右から4人目)ら

Pick Up

今月の話題

外国語指導助手 タオ・パさんに感謝状

任期満了に伴い外国語指導助手を退任するタオ・パさんへの感謝状贈呈式は8月3日、町役場で行われ、前後公町長がタオ・パさんに感謝状と記念品を手渡しました。

タオ・パさんは米国カリフォルニア州の出身。令和2年1月30日から約1年半にわたり、主に中学校での英語授業の補助やスピーチコンテストの指導を行ったほか、磐梯山登山や遠足などの学校行事にも積極的に参加し、生徒との交流を深めました。また、学びいなの英会話教室で講師を務めるなど、地域の皆さんと触れ合いながら、日本語の習得や日本文化の理解に努めました。

式では、前後町長と渡辺真一郎町議会議長があいさつを述べた後、タオ・パさんが「猪苗代町の皆さんに感謝します。猪苗代町の人たちはとても素敵で、新しい友人がたくさんでき、うれしく思います。これからも生徒たちが英語を学び、成長し続けることを願っています」と話しました。

町内3中学校を代表して東中学校の津金光彦校長が「猪苗代から世界へ羽ばたく人材の基礎を築くことにご尽力いただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Sep.2021
9
No.731

今月の表紙



【撮影日】 8月21日
【撮影場所】 猪苗代小校庭

8月に滋賀県で開かれた全日本小学生男子ソフトボール大会に出場した猪苗代スポーツ少年団ソフトボール部の皆さんです。【関連4～5ページ】

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 04 猪苗代スポーツ少年団ソフトボール部が全国大会に出場
- 06 【特集】心筋梗塞から命を守る～ためらわず119番通報を
- 08 少しの工夫で生ごみを減らしましょう
- 10 渡辺選手・東野選手が銅メダル獲得を報告
- 11 ホットニュース／地域おこし協力隊通信
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー